

特別経費（プロジェクト分） －大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実－

『放射光分析支援グリーンマテリアル研究拠点形成』

九州大学シンクロtron光利用研究センターが実施部局である標記プロジェクトが、平成23年度から4年間の計画として採択された。

平成20年度施設整備費補助金（大型特別機械整備費）で佐賀県立九州シンクロtron光研究センター（佐賀LS内）に九州大学ビームラインが設置され、学内予算措置により、物質のナノ構造解析装置であるX線吸収微細構造測定システム（XAFS）とメソ構造解析装置である小角散乱測定システム（SAXS）の分析附帯装置が整備された。この放射光利用XAFS/SAXS計測分析システムは、九州大学の新たなナノ構造分析大型機器であり、これを最大限に活用することは九州大学の材料研究の強化、進展に不可欠であるとともに、研究資源の有効活用の観点からも重要であり、平成21年度に設立した九州大学シンクロtron光利用研究センターが中心となって、その積極的な運営を推進している。

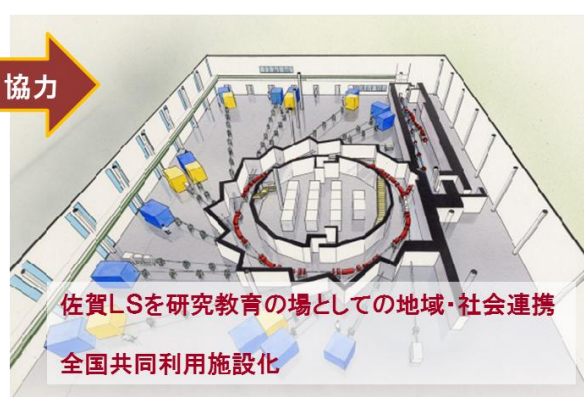
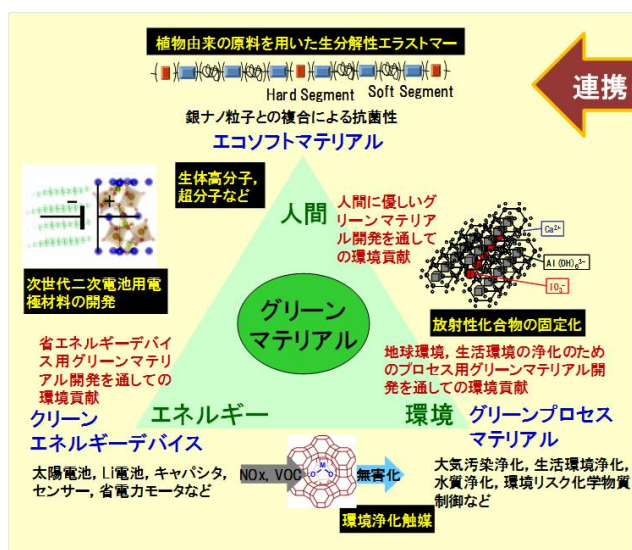
九州大学は、環境や人に優しい材料、環境改善技術を支える材料、環境に優しいエネルギー技術を支える材料などの**グリーンマテリアル（グリーン・イノベーションを先導する材料）**に関する研究で世界を先導する成果を発信している。本プロジェクトは、これをさらに組織的、戦略的に展開するために、地球環境、生活環境の浄化のためのプロセス用「**グリーンプロセスマテリアル研究**」、省エネルギーデバイス用「**クリーンエネルギーデバイス研究**」、人間に優しくライフ・イノベーションにも貢献できる「**エコソフトマテリアル研究**」を三本柱としたグリーンマテリアルという新たな概念の下で、放射光分析を活用した「**ナノの視点**」と「**超高感度・超高精度分析**」を通してのマテリアルのさらなる高度化を達成し、九州大学のグリーンマテリアル研究の強化・加速、人材育成、グリーン・イノベーションの創出を先導する世界に卓越した研究教育研究拠点の形成と共同利用施設化を目指すものである。

放射光分析支援グリーンマテリアル研究拠点形成（H23-H26）

「世界を先導するグリーンマテリアル研究拠点の構築」と「共同利用施設化」

九州大学シンクロtron光応用研究センター
グリーンマテリアル先端研究と人材育成

九州シンクロtron光研究センター（佐賀LS）
佐賀県有BL，九大BL，佐賀大BL



九大ビームライン(BL)
附帯X線吸収分光及び小角X線散乱測定システム

平成20年度 建設
平成21年度 整備，調整
平成22年度 調整→本格稼働

グリーンマテリアル・環境や人に優しい材料，環境改善技術を支える材料，環境・エネルギー共生技術を支える材料
(グリーン・イノベーションを先導する材料)